



すみえ
純惠的
子育て親育て！ **“もっと”** **話**

motto[mô:to]



自分の思いの実現に向けて— “Want Can Must”を 融合させることが鍵に

石山純恵さん。福島市在住、2児の母。
起業、国際結婚、離婚を経て平成20年
に再起業。多言語翻訳と研修立案等の会
社「クリフ」を設立。NPO法人Tomorrow
に参画し、市内2か所の学童保育所を運
営。福島の女性起業家として講演や研修
セミナーを行うほか、子どもから企業管
理職までの幅広い人材教育事業に関わ
る。豊富な経験を生かし多方面で活躍
中。【024(531)8120】

「仕事を一生懸命頑張っているけれど、このま
までいいのか？ 自分の
やりたいことはこれなの
か」と友人から相談を受
けました。彼女は「Want
Can Must」の
葛藤で悩んでいるのだと
感じました。話していく
うちに私は両親のこと
が思い浮かび、今ご紹介
したいと思います。

父は大きな仕事を追
求め大胆に行動するタイ
プ、母は地道にコツコッ
タイプで、私に向けた言
葉も異なっていました。
いつも父は「やりたいこ
とと出来ることは違
うと人は言うけれど、や
りたいことは何でも出
来る。やるためにどう
すればいいか考えなさい」、
母は「自分出来ること
を探し、女でも一人で生
きていく術を身につけな
さい」。唯一、両親とも
共通する言葉は「あいさ
つをきちんとしなさい」
と「人と違うところを見
なさい、見つけなさいや
りなさい」。

「Want」：Do（始
める）しなければ、実現
（成功）しないし、失敗す
ることもないけれど、何
も生まれないし学べな
い。「やりたいなあ」と
夢を見続けるなら、Do
しない選択肢ももちろ
んアリ。

「Can」：出来ること
でも、やらなきゃ出来な
いことと同然であるとい
うこと。出来ると思っ
て始めても、思ったよう
に進まないし、出来ない
ことも出てくるもの。そ
れをどう出来るように
するのが大切。

最後は「Must」：し
なくては行けないこと
も、しない、やらないこ
と（人）が多いもの。やる
のが当たり前のようです
が、きつちりやっている
こと（人）は意外にも少
ないと気づかれます。

両親は「Must
Do」の例としてあいさ
つを。何事も行動を起
すことから始まり動き
ながら軌道修正していく
大切さを、また行動を起
こさない、やめる勇気の
Doも含めて教えた
と思っています。

今では私の思考方・順
序や行動指針になっ
ています。両親にあらため
て感謝すると共に、私は思
子たちに何か教えられて
いるかと考えさせられた
のでした。